



# 笹小だより No. 5

令和元年8月27日  
横浜市立笹野台小学校

## 「地域に支えられている子どもたち」

校長 飯田 雅人

夏休みに入った頃までは、梅雨寒で日照不足が心配されましたが、7月も下旬に入った頃から、やっと夏らしい天候となった夏休みでした。7月27日（土）には、笹野台連合自治会主催の盆踊り大会の開催にあたり、本校の4年生が、運動会で演技した「ソーラン節」を披露させていただきました。たくさんの保護者や地域の皆様からのご声援をいただき、子どもたちにとって思い出に残る盆踊り大会になったのではないかと思います。今回の盆踊り大会は、昨年度の大会が台風の影響で中止になってしまったため、私にとっては初参加の盆踊り大会でしたが、お祭りに参加していた子どもたちには笑顔があふれていました。このように安心して地域の方に見守られながらお祭りに参加できる子どもたちは幸せだなあと感じるひとときでした。子どもの頃からの地域行事の参加は、人とのつながりを強くし、社会性を高めるといわれています。これから生きていくのに大切な力を地域でもしっかりと身に付けることのできる笹野台の環境は、大変ありがたいことであると思っています。

また、8月1日（木）には、旭公会堂で実施された「ジュニアボランティア体験事業～民生委員とともに～就任式、研修会」に参加しました。ジュニアボランティアとは、旭区内の小学生が民生委員・児童委員さんたちと一緒に、自分の住んでいる地域でボランティア活動や地域活動を行う事業です。自分の地域や街のよさを知ることや「思いやり」や「感謝」の気持ちを育むことを目的としています。本校からは、11名の6年生の子どもがジュニアボランティアに応募しました。就任式では、一人ひとりの名前が紹介され、代表の子どもに壇上で旭区長から直接参加賞（バンダナ）が渡されました。これから11月頃までパラスポーツ体験や保育体験、赤い羽根共同募金、敬老の日を祝う集いのお手伝いなどの活動に取り組んでいきます。子どもたちは、このようなさまざまな活動を通して地域や街、そしてそこで生活している人のよさを知り、将来自分が大人になったときには、より深く地域や人とかわかり、社会を支えていってくれることでしょう。

夏休み中に、教職員はさまざまな研修を行いました。その中の一つの研修では、希望が丘中学校ブロックの「9年間で育てる子ども像」に照らし合わせて、本校の子どもたちの成長過程において必要な「資質・能力」を共有しました。来年度より実施される新学習指導要領では、これからの時代に求められる、未来を切り拓くための資質・能力を一層確実に育成するとあります。教師が子どもたちの学びの様子をどのように見取って返していくのか、保護者や地域の方々の願いをどのように学習活動に反映していくのか、社会に貢献する力とはどういうものなのかを保護者・地域の皆様と共有していかなければなりません。来年度からの全面実施に向けて、準備を進めていくとともに、「元気いっぱい やさしさいっぱい 笑顔いっぱい 心かがやく笹小キッズ」の実現をめざして、教職員一同、これからも一層努力してまいります。今後ともご協力よろしく願いいたします。